

チリ経済情勢報告(2020年5月)

<概要> 景気は、コロナウイルス等の影響から大きく悪化している。

- 消費は大きく悪化している。
- 観光は急速に悪化している。
- 生産は、工業、鉱業ともに減少。企業マインドは下げ止まっている。
- 失業率は高い水準にあり、大きく悪化している。
- 物価は緩やかに減少している。
- 貿易は黒字が続いている。
- 銅価格は回復傾向、為替はペソ高に進展、株価は下落している。

先行きについては、コロナウイルスによる消費停滞、雇い止め等国内経済活動及び世界経済の停滞、国内情勢不安の引き続きの影響に留意する必要がある。

1. 経済指標

(1) GDP成長率(2020年Q1)

2020年の第1四半期(1~3月期)の実質GDP成長率は前年同期比0.4%と、2期ぶりに増加に転じた。また季節調整済前期比の伸び率は3.0%となった。

①需要項目別の動向

内需は前年同期比▲2.6%(前期同▲3.3%)となった(寄与度▲2.6%)。消費は前年同期比▲2.1%(前期同▲4.5%)となった。内訳は、民間消費が同▲

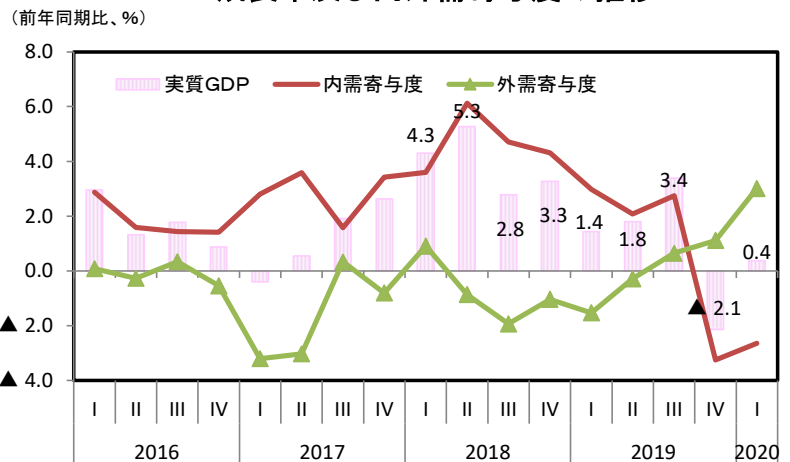
2.2%(前期同▲3.8%)、政府消費は同▲1.0%(前期同▲7.4%)となった。総固定資本形成は前年同期比0.4%(前期同2.7%)となった。内訳をみると、機械・設備投資が同6.3%(前期同5.4%)、建設・住宅投資が同▲9.6%(前期同▲2.1%)であった。

外需の寄与度は、3.0%となった。輸出は、前年同期比1.4%(前期同▲3.5%)となった。品目別では銅が同5.4%(前期同▲4.4%)と増加し、鉱業品全体も同6.6%(前期同▲4.5%)と増加した。財全体では同3.0%(前期同▲3.6%)と増加、農林水産品は同3.1%(前期同10.0%)の増加となった。輸入は、前年同期比▲8.9%(前期同▲7.5%)であった。

②セクター別の動向

セクター別では、銅が前年同期比3.5%(前期同▲2.7%)増加し、その他の鉱業は同20.9%(前期同3.2%)と増加した。鉱業全体では同5.1%(前期同▲2.0%)と増加した。製造業は同1.1%(前期同▲1.0%)と増加した。農林業は前年同期比▲1.3%(前期同▲1.9%)、水産業が同▲10.9%(前期同▲6.0%)となった。

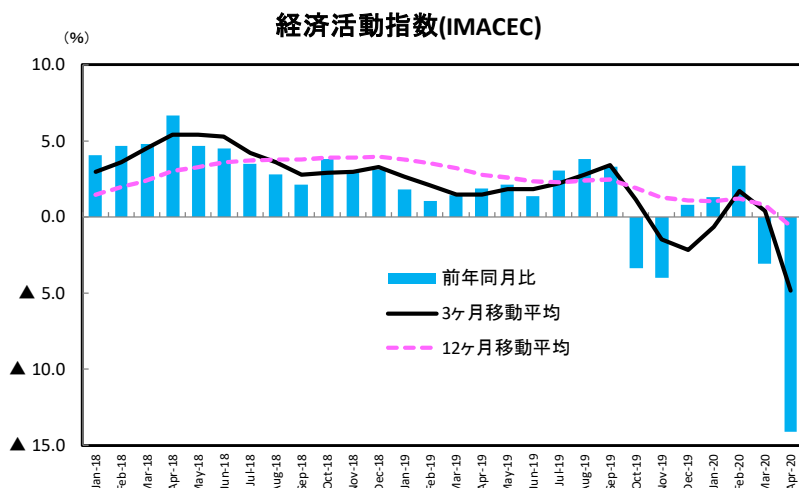
GDP成長率及び内外需寄与度の推移



(2) 経済活動指数(IMACEC)－前年同月比▲14.1％－

4月のIMACECは前年同月比▲14.1％、(季節調整済前月比は▲8.7％)となった。営業日数は昨年同数だった。鉱業は前年同月比▲0.1％、鉱業以外の業種は同▲15.5％だった。季節調整済前月比では鉱業は0.9％、非鉱業部門は▲9.7％となった。

中銀アンケート(6月)による見通しは5月▲15.5％(中央値)となっている。



(3) 消費－大きく悪化している－

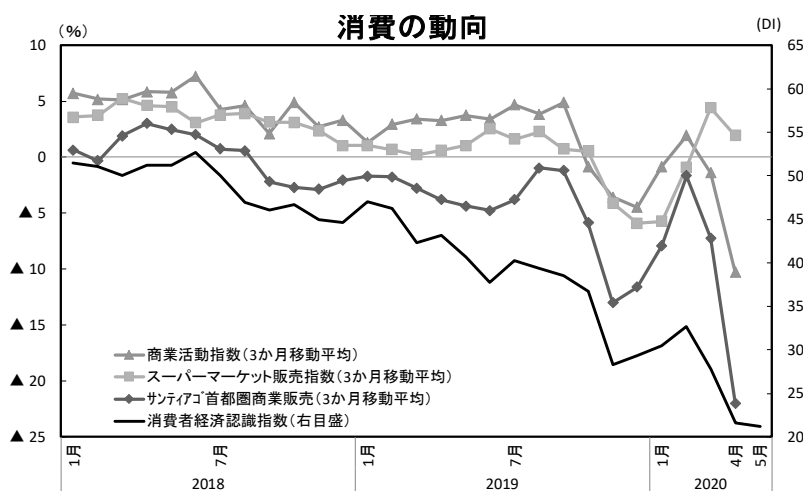
① 4月の商業活動指数(実質, INE公表)は、前年同月比▲24.7％、同指数の小売業(除く車)は同▲24.9％となった。

② 4月のスーパーマーケット販売額(実質, INE公表)は、前年同月比▲8.2％となった。

③ 商業販売額(チリ商工会議所公表, サンティアゴ首都圏, 暫定値)は、4月は前年同月比▲46.5％となった。

④ 5月の消費者経済認識指数(IPEC, GfKAdimark公表)は21.2(前月差▲0.4)、個人の景気認識(現状)は21.6(同▲0.4)と、引き続き50(中立点)を下回っている。

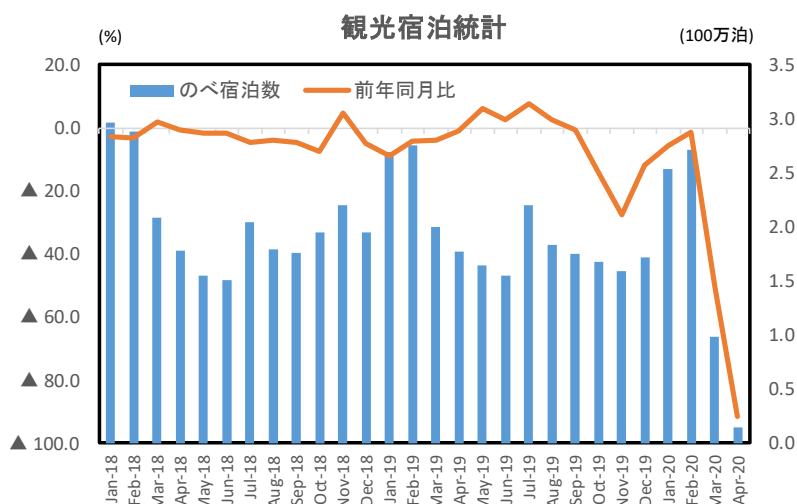
⑤ 5月の新車販売台数は8,681台(前年同月比▲72.2％)となった。



(4) 観光－急速に悪化している－

4月の観光宿泊調査(INE公表)は、のべ宿泊日数が150,924日、前年同月比▲91.5％となった。

地域別では、シェアの大きい首都圏州は同▲96.6％(寄与度▲35.1％)、バルパライソ州は同▲95.3％(寄与度▲9.7％)となった。その他の地域合計では、同▲87.2％となった。

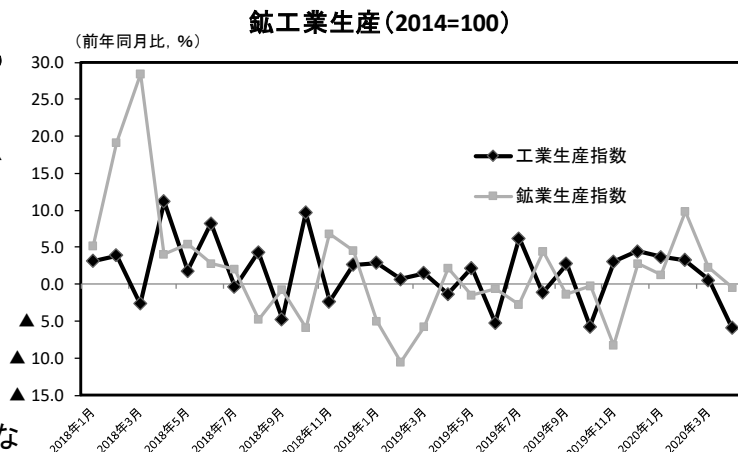


(5) 鉱工業生産、電力－工業、鉱業ともに減少－

4月の工業生産指数は、前年同月比▲5.9%となった。セクター別では化学が前年同月比寄与度0.70%と増加に寄与した一方、食料品が同▲0.94%と減少に寄与した。

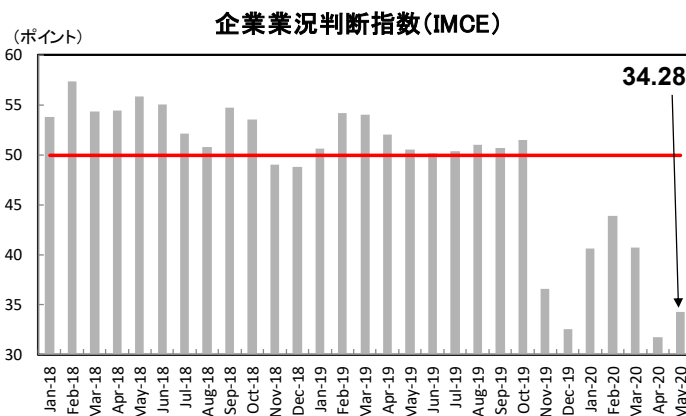
4月の鉱業生産指数は前年同月比▲0.5%、銅生産量は同2.8%となった。

4月の電力指数は前年同月比▲1.6%となった。



(6) 企業の業況判断－下げ止まり－

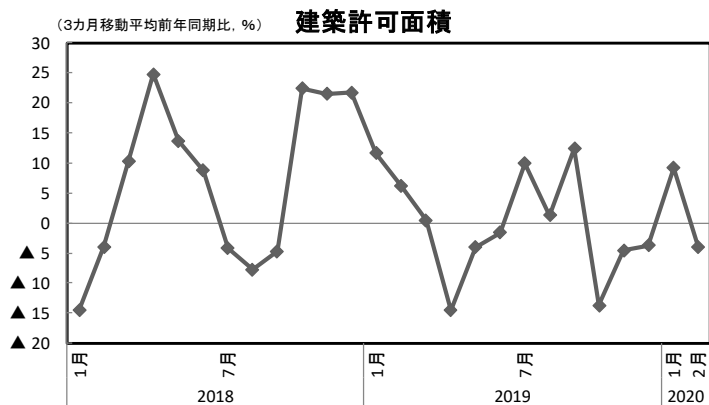
5月のIMCE(企業業況判断指数)は34.28ポイントで、前月差2.54ポイントとなったが、中立点を引き続き下回っている。内訳を見ると、商業が32.20(同5.09ポイント)、鉱業が63.98(同3.48ポイント)、製造業は33.18(同0.41ポイント)、建設業が8.80(同2.37ポイント)となった。



(7) 不動産－減少している－

※コロナの影響により公表が遅れている。

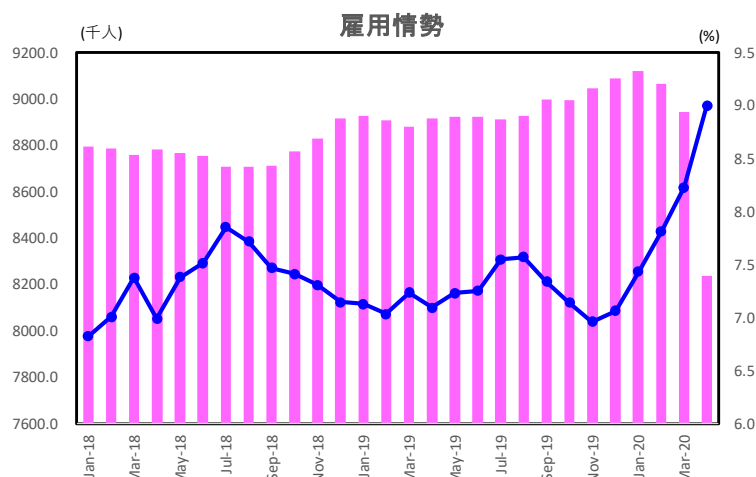
2月の建築許可面積(INE公表)は前年同月比▲4.0%(3か月移動平均)と5か月ぶりに減少した。内訳を見ると、住居が同2.4%、非住居は同▲16.4%となった。



(8) 雇用－失業率は高い水準にあり、悪化している－

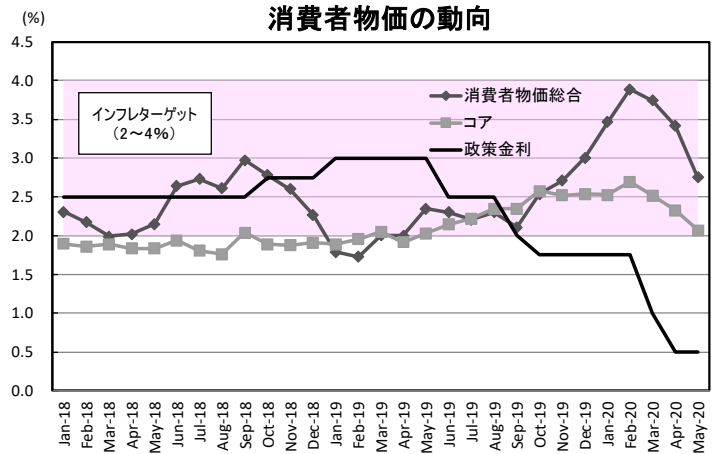
2～4月期の失業率は9.0%(前年同期差1.91%)と、高い水準にある。労働力人口は546,398人減少(前年同期比▲5.7%)、就業者数は680,086人減少(同▲7.6%)し、失業者数は133,688人増加(同19.6%)している。就業者数を職業別にみると、商業が前年同期比寄与度▲1.91%と減少に寄与している。

4月の賃金(速報値)は、名目は前年同月比2.6%、実質は同▲0.8%となった。



(9) 物価－緩やかに減少－

5月の消費者物価指数(総合)は、前月比は▲0.0%、前年同月比は2.8%となった。品目別に前年同月比の動きをみると生鮮(12.5%)、食料品(6.6%)が上昇している一方、通信(▲3.5%)が下落している。なお、生鮮・燃料を除く指数は、前月比0.1%、前年同月比2.1%であった。



中銀アンケート(6月)によるインフレ期待は1年後:2.5%(前月2.5%)、2年後:3.0%(前月3.0%)となっている。

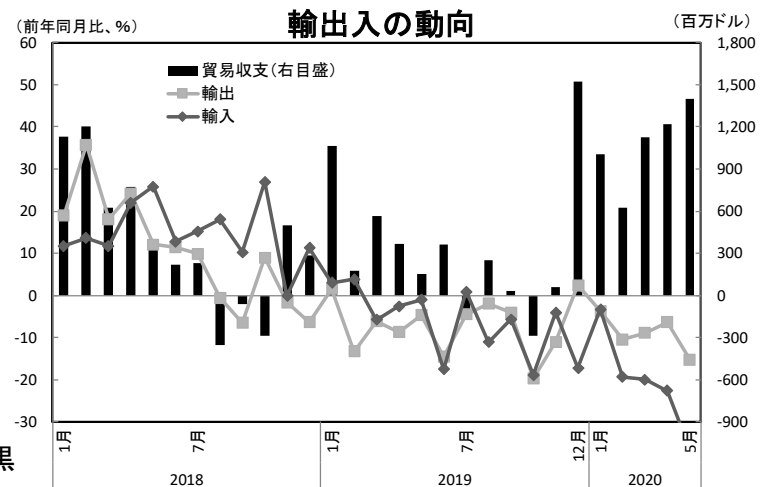
4月の生産者物価(全産業)は、前月比は▲0.1%、前年同月比は1.8%となった。電気ガス水道(前年同月比11.7%)、農林牧畜(同18.0%)が上昇した。

(10) 貿易－黒字が続いている－

①5月の輸出額(FOB)は52.3億ドル(前年同月比▲15.2%)となった。内訳を見ると、鉱業品28.3億ドル(同▲11.0%)(全体の54%)、農林水産品4.4億ドル(同▲29.0%)(全体の9%)、製造業品19.5億ドル(同▲17.2%)(全体の37%)となった。鉱業品のうち銅は25.7億ドル(同▲11.8%)(鉱業品輸出額全体の91%)となった。

②5月の輸入額(FOB)は38.3億ドル(前年同月比▲36.4%)となった。内訳(CIF)は、消費財9.8億ドル(同▲43.8%)、中間財21.6億ドル(同▲35.2%)、資本財10.0億ドル(同▲22.0%)となった。

③5月の貿易収支(FOB)14.0億ドルの黒字となった。



(11) 対日・中・韓貿易

①対日貿易(FOB):4月の貿易額は、輸出額4.7億ドル(前年同月比▲3.0%)、輸入額1.0億ドル(同▲54.5%)、貿易総額では5.7億ドル(同▲18.7%)となった。

②対中貿易(FOB):4月の貿易額は、輸出額19.7億ドル(前年同月比22.5%)、輸入額11.1億ドル(同2.1%)、貿易総額では30.9億ドル(同▲14.3%)となった。

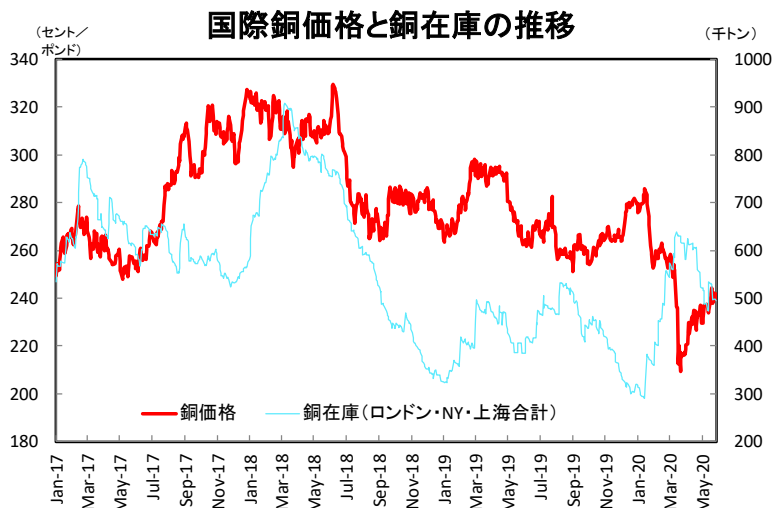
③対韓貿易(FOB):4月の貿易額は、輸出額3.1億ドル(前年同月比▲32.4%)、輸入額0.9億ドル(同▲27.8%)、貿易総額では3.9億ドル(同▲31.4%)となった。

2. 市場の動き

(1) 国際銅価格－回復傾向－

5月の国際銅価格は1ポンド2.29563ドル(1日)で始まった。世界経済の再活動化とくに中国の経済再開から銅価格が上昇。月末には2.41878ドル(29日)と前月末比1.9%で終了した。

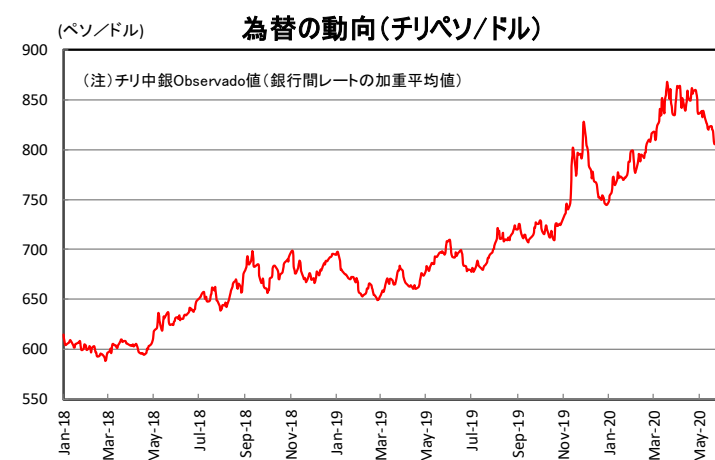
5月の銅在庫は、521,181トン(1日)で始まり、月末には461,677(29日)と前月末より減少した。



(2) 為替－ペソ高に進展－

5月の為替は、1ドル837.92ペソ(4日)で始まった。世界経済の回復が見通されることからペソ買いの展開が急進展。一時、中国香港問題で大きく下振れするも、ペソ高の展開傾向は変わらず。上旬には800ペソを大きく下回る展開となっている。

月末は812.74ペソ(29日)と前月末差▲23.88ペソ安で終了した。



(3) 株価－下落している－

5月のIPSA値(サンティアゴ主要株式指数)は3853.27ポイント(4日)で始まった。月末には3647.60ポイント(29日)と、前月末比▲8.3%で終了した。

